

(案)

# 東京港港湾計画資料

— 軽易な変更 —

平成30年7月

東京港港湾管理者  
東京都







# 目 次

1. 変更理由.....	1
2. 施設計画に関する資料.....	2
2.1 旅客船埠頭（小型栈橋）計画.....	2
3. 港湾環境整備施設計画に関する資料	
3.1 海浜の規模及び配置.....	3
4. 土地造成及び土地利用計画に関する資料	
4.1 海浜計画.....	5
5. 環境保全に関する資料.....	6
6. 東京都港湾審議会委員名簿.....	8



## 1. 変更理由

- ・ 都民をはじめ、多くの人々が水とのふれあいの場に快適にアクセスできるよう、東京港内の海上交通ネットワーク拡充のため、中部地区の旅客船埠頭計画を変更する。
- ・ 東京港の水域環境の保全・再生を図るとともに、水生生物をはじめとした多様な生物の生息環境を創出するため、中部地区の港湾環境整備施設計画及び海浜計画を変更する。

## 2. 施設計画に関する資料

都民をはじめ、多くの人々が水とのふれあいの場に快適にアクセスできるよう、港内海上交通ネットワーク拡充のため、中部地区の旅客船埠頭計画を変更する。



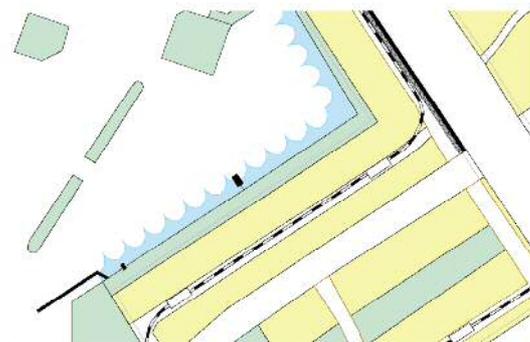
図 2-1 計画変更位置図

### 2.1 旅客船埠頭（小型栈橋）計画

表 2-1-1 旅客船埠頭（小型栈橋）計画

地区名		種別	水深 (m)	基数 (基)	対象船舶	航路の種類
中部 地区	お台場 (お台場海浜公園)	既設	3.0	1	小型船	海上バス等
		新規計画	3.0	1		

【既定計画】



【今回計画】

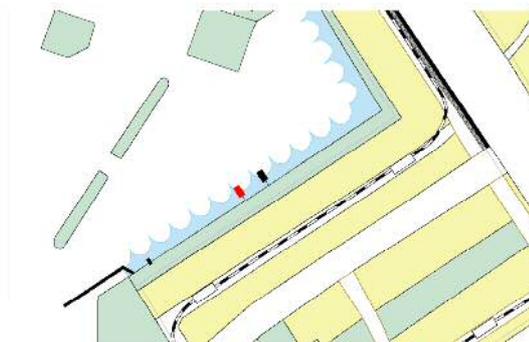


図 2-1-2 旅客船埠頭（小型栈橋）の既定計画図と今回計画図

### 3. 港湾環境整備施設計画に関する資料

#### 3.1 海浜の規模及び配置

東京港の水域環境の保全・再生を図るとともに、水生生物をはじめとした多様な生物の生息環境を創出するため、中部地区の海浜を次のとおり計画する。

表 3-1-1 海浜の規模及び配置の考え方

地区名	No	名称	海浜延長 (m)	主要な用途	規模の考え方	配置の考え方
南部地区	A	東京港野鳥公園	850 [既定計画]	海浜(干潟)	東京港野鳥公園の南側水域に海浜を確保	東京港野鳥公園と一体的に配置
	B	城南島海浜公園	600 [既定計画]	海浜	城南島海浜公園の北側水域に海浜を確保	城南島海浜公園と一体的に配置
		城南島海浜公園	500 [既設]	海浜	—	
	C	東海ふ頭公園	900 [既定計画]	海浜	東海ふ頭公園の西側水域に海浜を確保	京浜運河を中心とする生物生息環境ネットワークとして配置
		大井ふ頭中央海浜公園	1,500 [既設]	海浜	—	
		京浜運河緑道公園	850 [既設]	海浜	京浜運河緑道公園の西側水域の南部に海浜を確保	
中部地区		お台場海浜公園	1,400 [既設]	海浜		
	D	有明親水海浜公園	500 [新規計画]	海浜	有明親水海浜公園の北側に海浜を確保	有明親水海浜公園と一体的に配置
東部地区	E	辰巳の森海浜公園	520 [既定計画]	海浜	辰巳の森海浜公園の東側水域に海浜を確保	辰巳の森海浜公園と一体的に配置
中央防波堤地区	F	海の森公園	400 [既定計画]	海浜	海の森公園の東側水域に海浜を確保	海の森公園と一体的に配置
		中央防波堤沖	1,000 [既設]	海浜(磯浜)	新海面処分場の緩傾斜護岸の水深の浅い部分を活用	港内における生物生息環境ネットワークの外縁部として配置

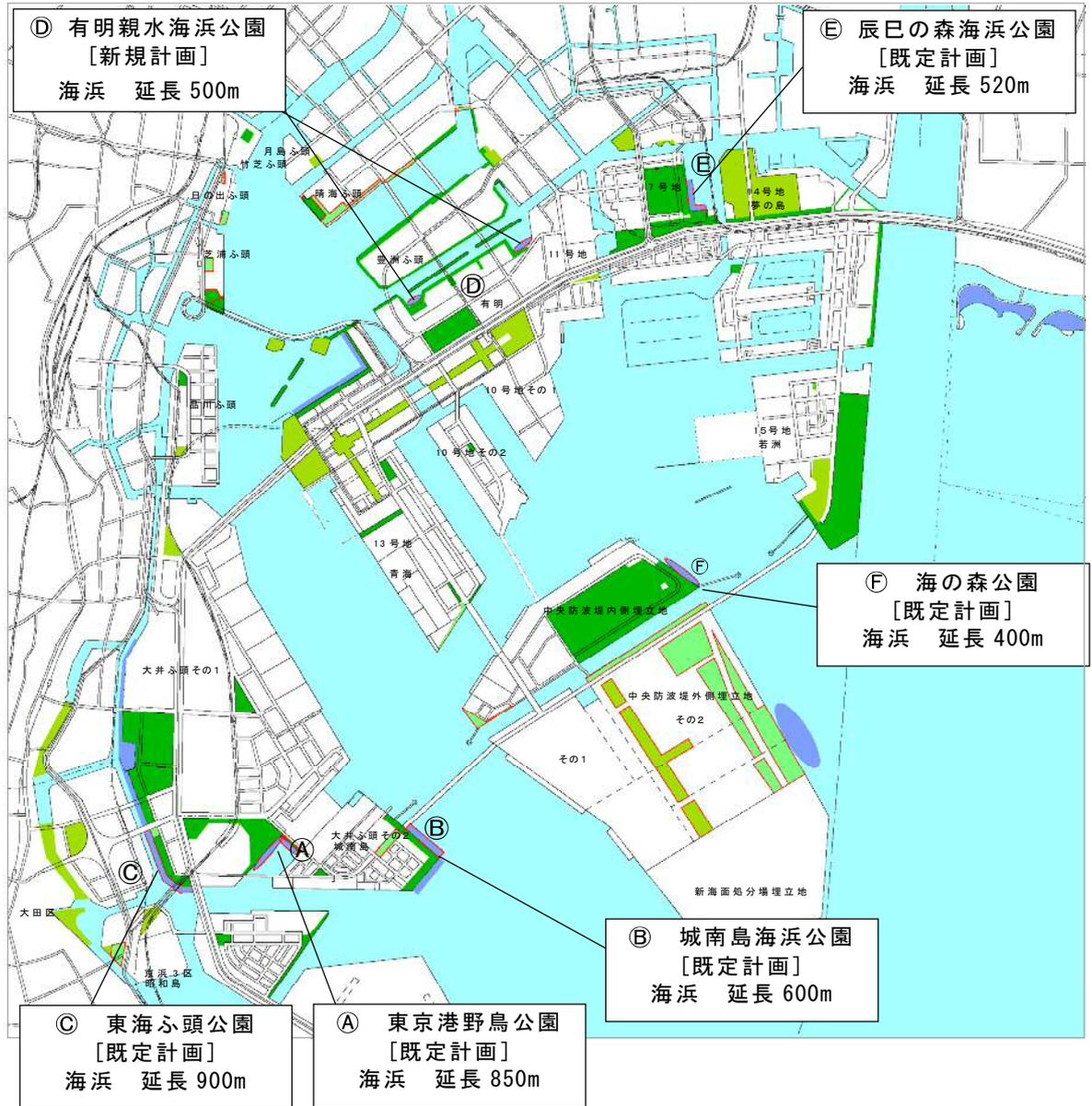


図 3-1-1 緑地・海浜計画位置図

## 4. 土地造成及び土地利用計画に関する資料

### 4.1 海浜計画

#### (1) 海浜の現況と計画

表 4-1-1 海浜の規模及び配置の考え方 [再掲]

地区名	No	名称	海浜延長	主要な用途	規模の考え方	配置の考え方
南部 地区	A	東京港野鳥公園	850 [既定計画]	海浜(干潟)	東京港野鳥公園の南側 水域に海浜を確保	東京港野鳥公園と 一体的に配置
	B	城南島海浜公園	600 [既定計画]	海浜	城南島海浜公園の北側 水域に海浜を確保	城南島海浜公園と 一体的に配置
		城南島海浜公園	500 [既設]	海浜	—	
	C	東海ふ頭公園	900 [既定計画]	海浜	東海ふ頭公園の西側水 域に海浜を確保	京浜運河を中心と する生物生息環境 ネットワークとし て配置
		大井ふ頭中央海浜 公園	1,500 [既設]	海浜	—	
		京浜運河緑道公園	850 [既設]	海浜	京浜運河緑道公園の西 側水域の南部に海浜を 確保	
中部 地区		お台場海浜公園	1,400 [既設]	海浜		
	D	有明親水海浜公園	500 [新規計画]	海浜	有明親水海浜公園の北 側に海浜を確保	有明親水海浜公園 と一体的に配置
東部 地区	E	辰巳の森海浜公園	520 [既定計画]	海浜	辰巳の森海浜公園の東 側水域に海浜を確保	辰巳の森海浜公園 と一体的に配置
中央 防波堤 地区	F	海の森公園	400 [既定計画]	海浜	海の森公園の東側水域 に海浜を確保	海の森公園と一体 的に配置
		中央防波堤沖	1,000 [既設]	海浜(磯浜)	新海面処分場の緩傾斜 護岸の水深の浅い部分 を活用	港内における生物 生息環境ネットワ ークの外縁部とし て配置

※図 3-1-1 参照

## 5. 環境保全に関する資料

### (1) 大気環境（大気質、騒音、振動、悪臭）

今回計画は、小型棧橋の増設による入出港船舶隻数及び利用者数を大きく変化させるものではないことから、大気質に与える影響は軽微であると考えられる。

また、東京港及び周辺の交通量を大きく変化させるものではないことから、道路交通騒音・振動の影響は軽微であると考えられる。

加えて、新たに悪臭を発生させるような施設の立地は想定していないことから、悪臭による影響はない。

このため、大気環境への影響は軽微であると考えられる。

### (2) 水環境（潮流、水質、底質）、土壌環境（地形）、生物（動物、植物、生態系）

今回計画は、潮流、水質、底質を大きく変化させるものではない。

また、今回計画において新たな海浜を計画するため、生物の生息場所及び採餌場を拡充するものである。

このため、水環境、土壌環境、生物に与える影響は軽微であると考えられる。

### (3) 自然との触れ合い（景観、人と自然との触れ合い活動の場）

今回計画は、周囲の公園と一体化を図り修景を行うとともに、海を眺める親水空間を創出していくものである。

また、新たな海浜の整備によって、野外レクリエーションの場は拡大する。

このため、景観、人と自然との触れ合い活動の場に与える影響は、ほとんどないものと考えられる。

### (4) その他（漁業、文化財）

今回計画が海生生物・生態系に与える影響は小さいものと予測されることから、漁業に与える影響は軽微であると考えられる。

また、今回計画の周辺地区には、第三台場、第六台場等があるが、直接改変するものではなく、これらを眺望する視点場を消滅、減少するものでもない。

このため、歴史的・文化的環境への影響は、ほとんどないものと考えられる。

#### (5) 総合評価

今回計画に伴う東京港周辺の環境に与える影響について予測・評価を行った結果、いずれの項目も影響は軽微、又は、ほとんどないものと考えられる。

なお、計画の実施にあたっては、環境保全について十分に配慮するとともに、工法・工期等について十分に検討し、十分な監視体制のもとに、環境に与える影響をより少なくするように慎重に行うものとする。

## 6. 東京都港湾審議会委員名簿

分野	役職等	氏名
学識経験者	元 日本郵船株式会社 特別顧問	草刈 隆郎
	一般財団法人みなと総合研究財団 理事長	鬼頭 平三
	日本機械輸出組合理事	橋本 弘二
	流通経済大学流通情報学部 教授	苦瀬 博仁
	日本大学理工学部まちづくり工学科 准教授	押田 佳子
	東京農業大学地域環境科学部造園科学科 教授	水庭 千鶴子
	首都大学東京経済経営学部 教授	松田 千恵子
	ジャーナリスト・環境カウンセラー	崎田 裕子
	敬愛大学経済学部 教授	根本 敏則
	一般財団法人沿岸技術研究センター 理事長	高橋 重雄
港湾・海上公園利用者	一般社団法人東京港運協会 会長	鶴岡 純一
	東京倉庫協会 会長	今井 恵一 ☆
	一般社団法人日本船主協会 常務理事	小泉 浩信 ☆
	公益社団法人東京湾海難防止協会 特別参与	松本 恭昇 ☆
	東京港湾労働組合連合会 執行委員長	山田 敏也
	全日本海員組合 関東地方支部 支部長	大山 浩邦
	一般社団法人東京都レクリエーション協会 副会長	澤内 隆
都民公募	田中 一哉	
港湾区域に隣接する特別区の区長	中央区長	矢田 美英
	港区長	武井 雅昭
	江東区長	山崎 孝明
	品川区長	濱野 健
	大田区長	松原 忠義
	江戸川区長	多田 正見
東京都議会議員	東京都議会議員	入江 のぶこ ☆
	東京都議会議員	もり 愛 ☆
	東京都議会議員	白戸 太朗 ☆
	東京都議会議員	上野 和彦 ☆
	東京都議会議員	高島 なおき ☆
	東京都議会議員	あぜ上 三和子 ☆
	東京都議会議員	山口 拓 ☆
関係行政機関の職員	東京税関長	藤城 眞 ☆
	関東地方整備局長	泊 宏 ☆
	関東運輸局長	河田 守弘 ☆
	東京海上保安部長	糸井 一幸 ☆
	警視庁交通部長	田中 俊恵 ☆

☆印は、新任委員(15名)

計37名

東京都港湾審議会答申（封筒綴じ込み）